

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈学校編〉】実践例

よりよい家庭学習の習慣化への取組
～南阿蘇村立久木野小学校～

- 小・中学校9年間を見通した家庭学習の「学びのものさし」を保護者と共有
○家庭学習の手順や内容を示した「家庭学習のてびき」と自主学習ノートの活用

[illegible]

南阿蘇村では児童の「よりよい家庭学習の習慣化」を育むため、小中学校のつなぎを重視した家庭学習の充実を図っています。小学校第1学年から中学校第3学年までの学習時間、学び方、身に付けたい態度や力などを示した「学びのものさし」や家庭学習の手順や内容を示した「家庭学習のてびき」を児童の実態に合わせて作成し、児童や保護者への配付、説明を行いました。

また、久木野小学校では高学年向けに、中学校で取り組んでいる自主学習ノートの小学校版を作成し、小学校から中学校へ家庭学習の習慣のつながりを意識した取組を行うことで、少しずつ家庭、児童生徒の家庭学習への意識が高まっています。

第5章 【学習習慣形成の素地となる環境づくり（五者連携）】実践例

健康や成長のために大切な「すいみん」をしっかりとるための取組
～ 御船町立七瀬中央小学校～

- 家庭における児童の生活習慣改善に向けて、家庭と連携した取組
○目標の達成に向け、児童や家庭に意識付けを行い、更に通信で啓発



ぐっすりすいみん通信

令和5年度
七海中学校の学校
NO. 6 (10月)
7月からの継続です

実施期間: 10月16日(月)～10月20日(金) 発行日: 10月23日(月)

9月の結果発表!

メディアコースのチャレンジ
(5日間コースをクリアできた)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
得点	83	79	70	43	65
割合	50%	60%	70%	65%	50%

運動部だったから、みんな練習してがんばったようす
↓ 1つ1つがんばるの姿が、本当にうれし!



くらら列にのりた
(ねる時間をももれた)

順位	1位	2位	3位	4位	5位
得点	93	90	89	79	88
割合	50%	50%	60%	60%	50%

自分でできた

順位	1位	2位	3位	4位	5位
得点	80	87	85	80	86
割合	60%	60%	70%	70%	60%

今秋のぐっすりすいみん通信は、運動部の代表が1回ありました。その日にメディアコースをクリアできなかったという人が、たくさんいます。これはなぜか?

運動部・練習生! というところから、寝れなかったり早く起きたりして、ぐっすりすいみん通信ができませんでした。

ぐっすりすいみん通信

ぐっすりすいみん通信のルール

★ぐっすりすいみん通信のルール

1. ぐっすりすいみん通信のルールは、ぐっすりすいみん通信のルールに従うこと。

2. ぐっすりすいみん通信のルールは、ぐっすりすいみん通信のルールに従うこと。

3. ぐっすりすいみん通信のルールは、ぐっすりすいみん通信のルールに従うこと。

ぐっすりすいみん通信に動員が

「ぐっすりすいみん通信」テレビやゲーム・タブレット

くせやコンクール

文字や図表は、「くせや」を添えて、かきまわす。今日どんな言葉や数字をきいたのかを日曜日の朝に、「くせや」の口を添えて、かきまわす。上書き印刷を添えてかきまわす。(グラフでかきまわす)

くせやコンクール

くせやコンクールは、くせやコンクールのルールに従うこと。

くせやコンクール

くせやコンクールは、くせやコンクールのルールに従うこと。

くせやコンクール

くせやコンクールは、くせやコンクールのルールに従うこと。

くせやコンクール

くせやコンクールは、くせやコンクールのルールに従うこと。

【記録シート（右）と提出後に発行する通信】
子供たちの「すいみん」の状況やメディア時間を分析して発信しています。

七滝中央小学校では、平成30年度から「ぐっすり睡眠週間」と題して、児童に「すいみん」の大切さを理解、実感させ、スマホ、ゲーム、タブレットなどのメディアへの依存を未然に防止する取組を行っています。

児童は、毎月1週間、個人で立てた睡眠の目標や学年に応じた家庭学習の目標を達成するため、家庭での生活を「記録シート」に記録します。また、保護者評価欄を設けて、学校・PTA・地域が一体となって児童の健康課題に向き合い、健全育成に取り組んでいます。

また、令和4年度からは家庭学習の時間の欄を設けるなど、バージョンアップしています。

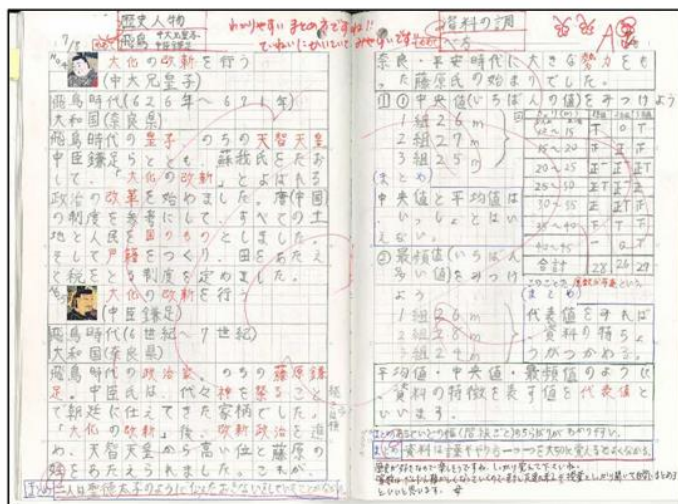
学校のHP【本校の教育→保健室より】
にも掲載しています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

家庭学習の質的向上を図る学校と家庭の二人三脚の取組 ～球磨村立渡小学校～

- 共通家庭学習ノート「ぐるぐるノート」の活用
- 学習内容と学習時間を見童自身が調整する力の育成



渡小学校では、家庭学習ノートとして1冊のノートを見童が輪番制で使用する「ぐるぐるノート」の取組を進めています。見童が日替わりで「ぐるぐるノート」で学習し、次の人に回していくため、他の見童の学習内容を参考にすることができます。また、保護者が励ましのコメントを記入する欄を設けることで、見童の家庭学習に取り組むやる気を高めるとともに、家庭学習の取組内容や学習量について、保護者の関心を高めることにつながっています。さらに、毎月、見童自身が家庭学習を自己評価する「学習日記」の取組も行っており、学習内容と学習時間を見童自身が調整する力を育てています。

【実際に使用している「ぐるぐるノート」】

第5章

【ICTを活用した家庭学習】実践例

Webアンケートを用いた家庭学習と授業の連携 ～菊陽町立菊陽中部小学校～

- 単元におけるWebアンケートを活用したレディネステストの実施
- 家庭学習における家庭へのインタビュー、振り返りによる授業との連携



身近な自動車に関するアンケート調査から、自動車に対するニーズを把握し、学習内容へとつなげていく。

【Webアンケート結果】

「なぜ、その自動車を選びましたか？」という質問を家庭学習で行いました。

単元「自動車をつくる工業」（社会）のレディネステストをWebアンケートのテスト機能を用いて家庭学習で実施しました。自動採点や結果の共有により単元に必要となる知識や技能を事前に知ることができ、学習の準備を整えることができました。

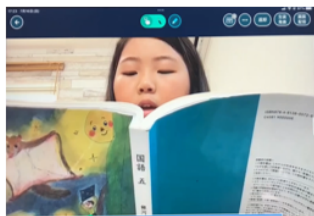
また、単元の始めに自動車に対する家庭の考えを各自がインタビューし、Webアンケートにまとめることで自動車づくりと自分たちの生活をつなげて考えることができました。

更に、授業の振り返りを家庭で行うことで授業時間の有効活用が可能となり、Webアンケートを活用することで学習履歴の蓄積が可能となりました。

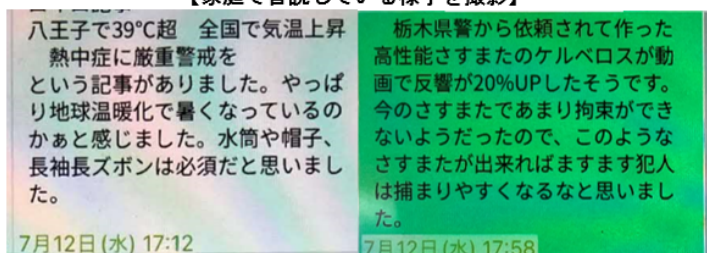
第5章 【ICTを活用した家庭学習】実践例

1人1台端末を活用し、学習意欲と学力の向上を目指した家庭学習の取組 ～ 南小国町立りんどうヶ丘小学校（高学年）～

- 家庭学習における1人1台端末による音読の動画撮影
- 学習支援ソフトを活用し日記及び新聞記事等に関する感想をオンラインで提出



【家庭で音読している様子を撮影】



【提出された新聞記事等への感想】

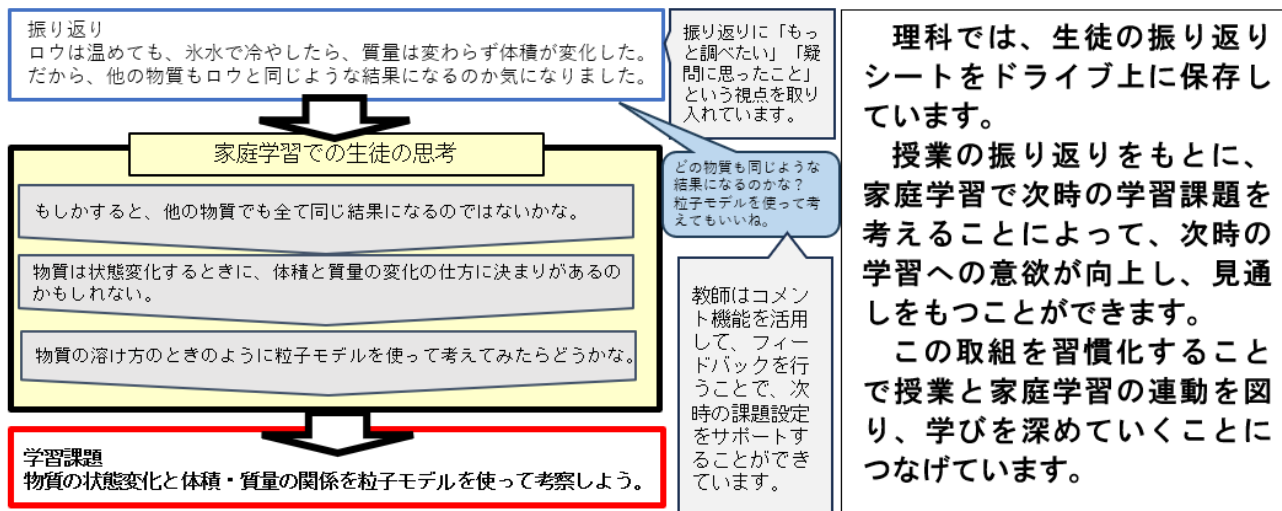
家庭学習で音読をする際は、1人1台端末で様子を撮影し、オンラインで提出しています。家庭での音読の様子や児童の変容を担任が把握できるようになりました。また、動画を撮影することで音読にも力が入り、教材文への理解が以前より進んでいます。

さらに、新聞記事等の感想を1人1台端末に書き込み、提出する経験を積むことで、社会事象を自分事として捉え、自分の考えがもてるようになりました。情報が共有され、児童の考えが広がることにもつながりました。

第5章 【ICTを活用した家庭学習】実践例

授業と家庭学習の連動を意識した取組 ～ 高森町立高森中学校～

- 1人1台端末の日常的な持ち帰りによる授業と家庭学習の連動（第1学年理科）



【授業と家庭学習をつなぐ取組（第1学年理科）】